

映画フィルム収納用電動式移動棚 一式
(搬入・据付・設置調整含む)

仕 様 書

独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館

仕 様 書

1. 件 名

映画フィルム収納用電動式移動棚 一式（搬入・据付・設置調整含む）

2. 概 要

本仕様書は、電動式移動棚の入札を定めるものとし、製品は国際標準化機構（ISO）の品質マネジメントシステム規格（ISO9001）及び環境マネジメントシステム規格（ISO14001）認証取得工場で生産された製品であること。

3. 数量等

<フィルム棚用>

「地下2・1階 保存庫1（保存庫2～8 同規模，同仕様）」

種 別	棚段数	連 数	台 数	備 考
単式固定	40	6	4	
複式移動	40	6	2	主操作パネル付
複式移動	40	6	28	

「地下2・1階 保存庫9（保存庫10 同規模，同仕様）」

種 別	棚段数	連 数	台 数	備 考
単式固定	30	7	2	
複式移動	30	7	1	主操作パネル付
複式移動	30	7	11	

「1階 フィルム検査室」

種 別	棚段数	連 数	台 数	備 考
単式固定	15	2	12	両開扉付

<書架用>

「1階 文献資料庫1」

種別	棚段数	連数	台数	備考
単式固定	6	3	1	
複式移動	6	3	4	
複式移動	6	3	1	主操作パネル付

「1階 文献資料庫2」

種別	棚段数	連数	台数	備考
単式固定	6	5	3	
複式移動	6	5	1	
複式移動	6	6	13	
複式移動	6	6	2	主操作パネル付

<物品用>

「1階 仮置室(倉庫)」

種別	棚段数	連数	台数	備考
単式固定	4	4	1	
複式移動	4	5	4	
複式移動	4	5	1	主操作パネル付

「1階 技術資料庫」

種別	棚段数	連数	台数	備考
複式固定	4	4	3	
単式移動	4	4	10	内2連W1200
単式移動	4	4	2	内2連W1200 主操作パネル付

4. 納入期限

平成23年3月31日(木)

5. 納入場所

東京国立近代美術館フィルムセンター相模原分館
神奈川県相模原市中央区高根3-1-4

6. 仕様

6-1 電動式移動棚

(1) 構成

棚の1単位は各列ごとに電動式駆動装置を有し、移動棚と固定棚及び走行レールによって構成されること。(ただし、1階フィルム検査室に設置されるフィルム棚は固定棚のみである。)

(2) 棚本体

日本工業規格JIS-S1039・2005に準ずる。

(3) 駆動方式

走行車輪へ駆動用モーターより減速機を介してドライブギアからダイレクトに駆動軸ギアへ伝達させること。

(4) 操作性

操作ボタンを押すだけで、簡単・確実に操作出来ること。

(5) 車輪および走行レール

- 1) 各車輪は、長時間の静止荷重に耐えられるように機械構造用炭素鋼鋼材とし、軸受けはピロー型ユニット無給油方式とする。
- 2) 車輪の径は118φ以上とする。
- 3) 車輪は脱輪防止の為、フランジ付きとする。
- 4) 走行レールと台枠部に転倒防止装置を有する事。
- 5) 地震時の強い引き抜き力に耐え得るようにレールのアンカー固定ピッチを240mm以内とすること。

(6) 安全性

- 1) ボタンを押して棚を移動させ、通路が開くと同時に全ての棚が電氣的に自動ロックされること。
- 2) 移動中、下部に取り付けられた安全プレートに障害物が触れると停止し、操作ボタンの赤ランプが点滅し異常を知らせるものとする。
この場合、点滅している棚自体の操作ボタンを押すと、その通路を開く方向のみ移動するものとする。
- 3) 棚が移動中にどのボタンを押しても緊急停止出来る事。また確認後即継続も出来ること。
- 4) 何らかの障害により駆動モーターが停止しない場合又は過大な電流が流れた時、自動的に電源を切る機能があること。
- 5) 棚が移動中またはインターロック解除後に利用者の不注意で進入しようとした時、センサーにて感知し棚を停止することが出来るセンサーロック機能を有すること。
- 6) 地震時の揺れで棚を暴走させない、制震機能を有すること。
- 7) 棚が移動中であることを目視しなくてもわかるようメロディー音装置があること。

(7) 構造

- 1) フィルム用：棚本体は、J I S規格同等の複柱式書架で、支柱に60mmピッチで掛け孔があいており簡単に棚受の上げ下げが出来ること。
フィルム検査室内固定棚については、気密性を保つ為、両開扉付とし、周辺の湿度変動に反応して短時間で吸湿又は放湿を繰り返す恒湿度機能を持つ、調湿ボード付とすること。
書架用：棚本体は、J I S規格同等の複柱式書架で、支柱に25mmピッチで掛け孔があいており簡単に棚板の上げ下げが出来ること。
物品用：棚本体は、J I S規格同等の鋼製物品棚で、L型支柱に30mmピッチで8Φの掛け孔があいており簡単に棚板の上げ下げが出来ること。
- 2) フィルム用：棚受は、プレス型一体成形フィルム受とし、フィルム長さ2000ft, 1500ft, 1000ft用丸缶が保存できるものとする。又、書架の移動の際、フィルム缶がずれないようにすること。
棚受最大積載質量は、5kg/段以上とする。(ただし、複式1連当たり400kgとする)
書架用：棚板最大積載質量は、40kg/段以上とする。(ただし、複式1連当たり600kgとする)
物品用：棚板最大積載質量は、150kg/段以上とする。(ただし、複式1連当たり1000kgとする)
- 3) 耐震性を重視し間口方向の震動に対しブレース、奥行き方向の震動に対しラチス材を使用すること
- 4) 台枠は、堅牢な作りとし、歪み、ねじれが生じないように溶接構造とすること。
- 5) 制御回路の異常により、通常操作が不可能になった場合は、操作パネル内の緊急移動スイッチにより棚を1台ずつ動かすことが出来ること。
- 6) 棚本体下部の台枠内には、モーターが組み込まれており、床面に敷設されたレール上を車輪にて移動するものとする。
- 7) ナンバープレートは、棚列用ナンバープレートとB6サイズの名刺差しにすること。
フィルム棚はアドレスシート貼り(カッティングシート切り文字)とし、列表示、段数表示をすること。
- 8) 主操作盤は、1ブロックに1台取り付けられブロック内における次の機能を制御できるものとする。
 - ・キースイッチによる電源の遮断。
 - ・操作ボタンによるスタート機能、リセット機能及びストップ機能の選択。
 - ・集束ボタンによる集束機能。
 - ・均等ボタンによる通路均等開口機能。
 - ・緊急移動装置による単一連移動機能。
 - ・各種表示灯による異常有無などの機能。

(8) 照明

書架間の通路照明はh f 32W蛍光灯を使用し、通路選択と通路ロック解除に連動して点灯・消灯する照明装置とする。

(9) 耐震構造

静的荷重試験・三軸震動台による800ガル以上の耐震試験をクリアし、その事を証明する書類を事前に提出すること。

* 自社工場内での実験データは不可とする

(10) 塗 装

塗装はJIS-S1039・2005に規定する「性能」-「表面処理」に準ずる。
尚、揮発性有機化合物の濃度が、厚生労働省の定めるVOC室内環境濃度指針値以
内とし、その事を証明する書類を提出すること。

塗装色は、シルキーアイボリー系とし、色見本を提出し承諾を得ること。

7. 主要部材リスト

【電動式移動棚本体】フィルム缶用

部 品 名	使 用 材 料	J I S番号	J I S記号
支 柱	1.6mm 熱間圧延鋼板 塗装	G-3131	SPHC
天 板	1.0mm 冷間圧延鋼板 塗装	G-3141	SPCC
柱つなぎ	1.6mm 熱間圧延鋼板 塗装	G-3131	SPHC
棚 受	1.2mm 冷間圧延鋼板 塗装	G-3141	SPCE
ラチス材	□16×16×1.2mm 塗装	G-3445	STKM
筋 か い	FB3×19mm 塗装	G-3101	SS-400
中仕切板	0.8mm 冷間圧延鋼板 塗装	G-3141	SPCC
側 板	1.0mm 冷間圧延鋼板 塗装	G-3141	SPCC
背 板	1.0mm 冷間圧延鋼板 塗装	G-3141	SPCC
転倒防止金物	3.2mm 熱間圧延鋼板 塗装	G-3131	SPHC
上部転倒防止装置	φ31.8 1.6mm	G-3445	STKM
台枠(前後)	3.2mm 熱間圧延鋼板 塗装	G-3131	SPHC
台枠(縦)	3.2mm 熱間圧延鋼板 塗装	G-3131	SPHC
軸受け棧	3.2mm 熱間圧延鋼板 塗装	G-3131	SPHC
軸 受	CS205 (ピロー型ユニット)	規格外	FCD-45
当りゴム	φ40 硬質ゴム (クロロプレン)	規格外	CR
車 輪	φ118 機械構造用炭素鋼鋼材	G-4051	S35C
車 軸	φ25 機械構造用炭素鋼鋼材	G-4051	S25D

【電動式移動棚本体】 書架用

部 品 名	使 用 材 料	J I S 番 号	J I S 記 号
支 柱	1.6 mm 熱間圧延鋼板 塗装	G-3131	SPHC
天 板	0.8 mm 冷間圧延鋼板 塗装	G-3141	SPCC
柱つなぎ	1.6 mm 熱間圧延鋼板 塗装	G-3131	SPHC
棚 板	0.8 mm 冷間圧延鋼板 塗装	G-3141	SPCC
棚 受	1.2 mm 冷間圧延鋼板 塗装	G-3141	SPCC
ラチス材	□16×16×1.2 mm 塗装	G-3445	STKM
筋 かい	FB3×19mm 塗装	G-3101	SS-400
中仕切板	0.8 mm 冷間圧延鋼板 塗装	G-3141	SPCC
側 板	1.0 mm 冷間圧延鋼板 塗装	G-3141	SPCC
背 板	1.0 mm 冷間圧延鋼板 塗装	G-3141	SPCC
背 当 り	0.8 mm 冷間圧延鋼板 塗装	G-3141	SPCC
転倒防止金物	3.2 mm 熱間圧延鋼板 塗装	G-3131	SPHC
上部転倒防止装置	φ31.8 1.6 mm	G-3445	STKM
台枠 (前後)	2.3 mm 熱間圧延鋼板 塗装	G-3131	SPHC
台枠 (縦)	3.2 mm 熱間圧延鋼板 塗装	G-3131	SPHC
軸受け棧	3.2 mm 熱間圧延鋼板 塗装	G-3131	SPHC
軸 受	CS205 (ピロー型ユニット)	規格外	FCD-45
当りゴム	φ40 硬質ゴム (クロロプレン)	規格外	CR
車 輪	φ118 機械構造用炭素鋼鋼材	G-4051	S35C
車 軸	φ25 機械構造用炭素鋼鋼材	G-4051	S25D

【電動式移動棚本体】物品用

部 品 名	使 用 材 料	J I S 番 号	J I S 記 号
支 柱	2.3mm 熱間圧延鋼板 塗装	G-3131	SPHC
天 板	1.0mm 冷間圧延鋼板 塗装	G-3141	SPCC
棚 板	1.0mm 冷間圧延鋼板 塗装	G-3141	SPCC
棚 受	1.6mm 冷間圧延鋼板 塗装	G-3141	SPCC
棚板補強	0.8mm 熱間圧延鋼板 塗装	G-3131	SPHC
背ブレース	FB3×32mm 塗装	G-3101	SS-400
側ブレース	FB3×32mm 塗装	G-3101	SS-400
側 板	1.0mm 冷間圧延鋼板 塗装	G-3141	SPCC
背 板	1.0mm 冷間圧延鋼板 塗装	G-3141	SPCC
転倒防止金物	3.2mm 熱間圧延鋼板 塗装	G-3131	SPHC
上部転倒防止装置	φ31.8 1.6mm	G-3445	STKM
台枠 (前後)	3.2mm 熱間圧延鋼板 塗装	G-3131	SPHC
台枠 (縦)	3.2mm 熱間圧延鋼板 塗装	G-3131	SPHC
軸受け棧	3.2mm 熱間圧延鋼板 塗装	G-3131	SPHC
軸 受	CS205 (ピロー型ユニット)	規格外	FCD-45
当りゴム	φ40 硬質ゴム (クロロプレン)	規格外	CR
車 輪	φ118 機械構造用炭素鋼鋼材	G-4051	S35C
車 軸	φ25 機械構造用炭素鋼鋼材	G-4051	S25D

8. 搬入・施工

- 1) 資材の搬入・施工時期は別紙を参照すること。また、搬入に際して、当館職員及び建物施工業者と搬入経路、駐車場等の使用について打ち合わせの上、実施し、指定された時間に作業を行うこと。
- 2) 作業実施に際して、物品及び建物施設等を損傷しないよう十分注意し養生すること。
- 3) 損傷を与えた場合には、請負者の負担により現状に復すること。原則として組み立ては、ボルト・ナットを使用すること。
- 4) 現場施工期間は火気厳禁とする。

9. 電源

電源について、2次側以降の配線工事は、落札者にて行うこと。また、搬入時に必要な電気の使用料は、建物施工業者と調整すること。

10. 保証期間

保証期間は検収後1年とし、設計・製作・施工の不備により生じた故障は、無償にて速やかに修理すること。

11. その他

- 1) 製作前に承諾図面を提出し、承認を得ること。
- 2) 本仕様書に記載のない事項、あるいは不明な点がある場合は当館職員の指示によること。
- 3) 本仕様書は、別紙設置計画図面を参照とするが、同等品の場合、移動棚の占有全幅・全奥行の許容範囲は、図面寸法 -20mm までとする。
移動棚の高さ・棚板の奥行等の許容範囲は、別紙設置計画図面寸法 $\pm 5\text{mm}$ 以内とする。